



# 八幡だより

北区立八幡小学校

令和6年度 6月号

北区立八幡小



八幡小  
公式 HP



## 子供をみる「三つの『み』」

副校長 米田 靖彦

桜の季節が過ぎ、サツキも終わり、紫陽花の花が色づく時期になりました。梅雨入りが気になる今日この頃です。

さて、私は教職員に、子供たち一人一人をよく見てほしいと呼び掛けています。もちろん保護者の方にも「よく見てあげてください」ということも話してきました。一口に子供を「よくみる」と言いますが、そんなに簡単なことではないと思っています。私が考えているのは「三つの『み』」です。

まず一点目は、「見逃さない」の「み」です。

「うちの子は、いつもこうだから安心だ」と、決めてかかってはいないでしょうか。子供はいつもよい行いだけをするとはいりません。始めは好ましい状態であっても、終わりは・・・ということもあります。また、好ましくない行いがあったので、十分に注意したからと言っても安心とは限りません。子供たちの「今」の姿を見逃さないことです。

次の二点目は、「認める」の「み」です。

「このくらいのことはできて当たり前」という言葉を言ってしまうことはありませんか。最後まで頑張っていることができたり、責任をもって仕事ができたりしたら、大いに褒めてあげてください。大人の解釈ではなく、『認める・褒める・勇気づける・励ます』言葉は惜しみなく与えるべきだと思います。

最後の三点目は、「見つめ続ける」の「み」です。

見逃さずに認めてあげるためには、子供をよく見ていなければできません。ある時点だけではなく、ずっと見つめ続けることが大切です。例えば、仕事を頼んだとき、その仕事の取り掛かりから仕上がりまでどんな様子であったのか、朝食のときは元気がなかったけれど、夕食のときはどうだったのかなど、いろいろな場面で子供を見つめ続けていくということなのです。

このようにして子供をみることで、子供への接し方は変わっていきます。接し方が変わると、子供も心を開き、安心して自分を表現することができるようになります。子供を見て、気になることや心配なことがあったらすぐに寄り添い、話を聞くことです。もちろん担任や学校とも連絡を取り合い相談してください。家庭と学校が同じ視点で、子供たちを育成することの大切さに、ご理解ご協力をいただけたら幸いです。

※ 今年度の欠席連絡フォームは、4月5日付のメール配信で案内をしています。今一度ご確認ください。

※ きたコンを授業で使う際には、家での充電にご協力ください。学校での充電は行いません。

### 離任式 4月25日(木)

みんなでアーチを作り  
お見送りしました。



「今まで  
ありがとう  
ございました！」

### 全校写生会 5月2日(木)

6月の学校公開で  
展示予定です。

3・4年  
緑道公園

1・2年  
消防写生会

6年  
校内風景

5年  
寶幢院

